

公益財団法人斎藤茂吉記念館平成31年度事業計画

1. 公益事業

(1) 斎藤茂吉に関する情報・資料等の展示(斎藤茂吉記念館の公開)事業

ア, 常設展示 - 地階常設展示室「斎藤茂吉の世界とその作品」展

斎藤茂吉の足跡を辿りながら、数々の業績と魅力を伝える作品「自筆書画・原稿・書簡・著書・遺品など」展示・解説のほか、茂吉を深く理解するためのデジタル機器・グラフィック解説板・ジオラマ等の活用とともに、ふるさと山形・上山を生涯愛し続けた茂吉の様子を紹介することを主軸とした展示構成で前年度から内容を継続して実施する。

- 茂吉世界へのいざない(動画・ジオラマ演出) ○茂吉森羅万象(国内・海外・ふるさと/デジタル画像等展示) ○茂吉交遊相關図(少年期・青年期・壮年期・医学期・晩年期) ○茂吉の生涯(ジオラマ解説:2台)
○茂吉の作歌姿勢 ○医学者茂吉(ジオラマ解説) ○茂吉の書画 ○茂吉とふるさと山形・上山(茂吉少年の庭/生家周辺古地図) ○茂吉の業績 ○茂吉の交遊 ○茂吉の著書 ○茂吉の肖像 他

イ, 常設展示 - 地階映像展示室「斎藤茂吉の世界とその時代」

斎藤茂吉の生涯を概観し常設展示資料を補足するための展示映像について、定時的上映(約18分間)を実施する。(デジタルハイビジョン画像)

※映像解説資料「映像に出てくる斎藤茂吉のうた」を室内に配置(常時配布)

ウ, 常設展示 - 1階集会室「斎藤茂吉晩年の居室 茂吉とその家族たち」展

斎藤茂吉が死去した居間・書斎(晩年の居室)の復元展示、茂吉晩年の様子を示すエピソードと密接にかかわる家族など周辺の人々を紹介し、関連資料の展示を実施する。(関連映像「父・茂吉の思い出」・情報検索装置等「茂吉アーカイブス・茂吉ライブラリー」の継続的設置活用)

エ, 常設展示 - 1階ロビー「茂吉の人となり」「短歌とは/短歌全史」「斎藤茂吉短歌文学賞」「斎藤茂吉ジュニア短歌コンクール」の展示

展示室入口(階段・エレベーター通路脇)壁面を利用した展示として、タッチパネル式ディスプレイ(茂吉の人となり/年譜・茂吉歌碑マップ)とグラフィックパネル(短歌とは・短歌全史/近代短歌の系譜)の掲示、メッシュパネル(斎藤茂吉短歌文学賞/事業概要・各回受賞者)(斎藤茂吉ジュニア短歌コンクール/事業概要・最新の最優秀賞受賞者作品6首)の掲示を前年度より継続して行う。

オ, 常設展示 - 別棟(みゆき公園内)「箱根山荘の勉強部屋」の設置

神奈川県箱根強羅の斎藤家別荘離れとして、茂吉が毎年夏に避暑・原稿等執筆のため利用した「箱根山荘の勉強部屋」と「移築記念碑」の設置(上屋内)と、その音声解説装置と解説板(グラフィック展示)を設置する。※人感センサーによる音声解説と照明設備の起動設備の継続設置

カ, 常設設置 - 1階ロビー「キッズサロン」「茂吉短歌ポスト」等の各設置

入館した子どもから大人まで、楽しく斎藤茂吉に親しむ空間として、ロビーの一部を利用した「キッズサロン」(茂吉短歌かるた・茂吉ジグソーパズル・絵本などを配置)、短歌の普及として気軽に作歌するための「茂吉短歌ポスト」の館内投稿窓口(ポスト)、茂吉自作短歌朗詠機の各設置を継続的に行う。

キ, 常設設置 - 展示情報等音声解説機器「音声ガイド」設備設置

施設概要・展示内容・作品鑑賞等の情報提供による入館者のサービス向上等を目的とした機器設備(20台)の継続設置と有料貸出を実施する。

※機器利用時においてプログラムガイドの配布を行う。

ク, 特別展 - 守谷夫妻記念室「斎藤茂吉と平福百穂」展(仮称)

斎藤茂吉と日本画家で歌人の平福百穂に焦点をあて、交された書簡、茂吉の歌集『赤光』

『あらたま』の口絵をはじめ、画人として百穂が手掛けたアララギ叢書の装丁・挿絵、さらに百穂のアララギ同人を描いたスケッチや茂吉旧蔵の絵画作品などの展示を中心として、その交流について紹介するため実施する。

※会期：平成31年4月27日（土）から同年8月31日（土）まで

○第45回斎藤茂吉記念全国大会「平成31年5月19日（日）」開催時の斎藤茂吉記念館見学行事の時間帯において、館長の展示作品解説（ギャラリートーク）を行う。

ケ、企画展示 - 1階ロビー「創作折紙展 茂吉が詠んだ鳥」（仮称）

茂吉が短歌に詠み込んだ「鳥」をモチーフにした折紙作品を展示することにより、茂吉の短歌の世界や自然観などに視覚的に触れてもらうことを主眼に実施する。展示作品は、宮永智悠氏（日本折紙学会会員）創作折紙作品より本展のテーマに沿ったものを中心とする。

※会期：平成31年7月16日（火）から同年9月30日（月）まで

○イベント「折紙講座・ロビーコンサート」平成31年8月3日（土）

本展および斎藤茂吉記念館の周知などのため、広く一般市民などから参加を募り、会期中の関連イベントとして実施する。

※折紙講座：午後3時30分～

※ロビーコンサート：午後5時～（閉館後）

コ、特別展 - 守谷夫妻記念室「茂吉の妻 斎藤輝子」展（仮称）

斎藤茂吉の妻・斎藤輝子に焦点をあて、輝子旧蔵の品々の展示を中心として実施する。

※会期：平成31年9月7日（土）から同32年3月31日（火）まで

（2）資料の保存・整理と調査・報告事業

ア、資料管理のための環境等整備

寄託品を含む収蔵資料を円滑に活用するため、管理台帳等の整理と保存環境の整備（分類保管の再編）、資料等データ検索のための諸情報整備を行う。

イ、展示活用のための収蔵資料の修復（修繕）等の実施

斎藤茂吉などの主要資料で、これから館内展示の核となる作品・資料の活用のため、収蔵品（墨書・絵画作品）等の修復と修繕などを行う。

ウ、新たな展示に対応するための資料等の収集

斎藤茂吉の魅力を深める新たな展示構成に対応し、収蔵資料の拡充とともに特別展等実施の円滑化を図るため、斎藤茂吉を中心とした作品等の収集を行う。

エ、短歌・斎藤茂吉関連刊行物の調査と資料収集

県内短歌関連刊行物（歌集・歌論集等）と斎藤茂吉と親交した文人等の著作物収集を行う。

オ、斎藤茂吉に関する調査研究・啓発・年次報告等のための印刷物

◎「公益財団法人斎藤茂吉記念館年報 通巻第34号」（平成30年度）

公益財団法人斎藤茂吉記念館の前年度の決算後における諸事業等の年次報告冊子として、平成31年12月中旬を目処に発刊する。

◎館報「茂吉記念館だより 第22号」

斎藤茂吉記念館及び斎藤茂吉の普及・研究等の冊子として、外部研究者等の寄稿を中心に、新規収蔵品、事業内容などを掲載し平成31年12月中旬を目処に発刊する。

（3）学芸及び文化振興のための普及事業

ア、斎藤茂吉ジュニア短歌コンクール（共催）

◎平成30年度第16回応募作品における最優秀作品（6作品）の表彰（最優秀賞受賞者の表彰）

第45回斎藤茂吉記念全国大会開催時の平成31年5月19日（日）に表彰式を実施する。

◎第17回短歌作品募集と選考（作品選歌）

小・中・高校の児童・生徒を対象とした短歌作品の応募要項策定・募集(学校単位の応募)と、選考委員(第1次・第2次)による作品選考(最優秀・優秀・入選作品)を実施する。

◎入選作品集発刊 入選作品集「桜実(Sakurago)」

第17回(平成31年度)最優秀・優秀・入選作品全200首・選考委員の選評・最優秀作品受賞のことば等掲載、平成32年3月中旬に発刊する。

◎最優秀作品揭示(斎藤茂吉記念館内ロビー壁面)

第16回(平成30年度)最優秀作品(小・中・高校各部門2首/計6首)と事業概要を掲示する。

イ、公開講座

◎第15回定例歌会

斎藤茂吉記念館の周知・誘客と短歌実作の向上等を目的に、超結社の歌会形式による定期的歌会(平成25年度からの継続事業)として第15回歌会を実施する。さらに、歌会終了後は特別展等展示作品解説(館長ギャラリートーク)を関連行事として行う。

日時：平成31年6月30日(日)午後1時～午後3時(開場12時30分)

会場：斎藤茂吉記念館内集会室(1階)

作品総評：秋葉四郎氏(斎藤茂吉記念館館長・歌人「歩道」編集人)

運営協力：上山市内在住歌人(司会・進行等)

定員：50人(有料/資料代実費/斎藤茂吉記念館入館料金含)

※館長ギャラリートーク：午後3時～午後3時30分・館内守谷夫妻記念室等(地階)

◎第16回定例歌会

斎藤茂吉記念館の周知・誘客と短歌実作の向上等を目的に、超結社の歌会形式による定期的歌会(平成25年度からの継続事業)として第16回歌会を実施する。さらに、歌会終了後は特別展等展示作品解説(館長ギャラリートーク)を関連行事として行う。

日時：平成31年11月10日(日)午後1時～午後3時(開場12時30分)

会場：斎藤茂吉記念館内集会室(1階)

作品総評：秋葉四郎氏(斎藤茂吉記念館館長・歌人「歩道」編集人)

運営協力：上山市内在住歌人(司会・進行等)

定員：50人(有料/資料代実費/斎藤茂吉記念館入館料金含)

※館長ギャラリートーク：午後3時～午後3時30分・館内守谷夫妻記念室等(地階)

◎特別講座「歌から見る斎藤茂吉」(仮称)

歌から見た斎藤茂吉の心情、当時の様子などを紹介することにより、茂吉を探求する公開講座として実施する。

日時：平成31年8月3日(土)午後1時30分～午後3時(開場午後1時)

会場：斎藤茂吉記念館内集会室(1階)

講師：梅内美華子氏(歌人)

定員：60人(無料/斎藤茂吉記念館入館料金別途)

◎出張(出前)講座

県内諸団体(非営利)主催の講演会・研修会等における斎藤茂吉及び短歌(作歌)等を学習テーマとした際の講師派遣を行う。(年度内随時受付) *講師：斎藤茂吉記念館館長・同職員

ウ、茂吉短歌ポスト

広く短歌を普及するため「短歌ポスト」を通年設置(投稿受付)するとともに、投稿用紙の作成・配布(観光施設等)、投稿作品の選歌(50首を目処に年度内3回程度)と入選者公表、作品集の発刊、第49回かみのやま温泉全国かかし祭会期中の特別投稿箱かかしの出品(上山市内公園にて平成31年9月14日～23日(10日間)予定)を実施する。

エ、ホームページ

斎藤茂吉記念館・斎藤茂吉の諸情報の提供、主催等諸事業に関する情報発信等を目的として、前年度の全面的リニューアル後の継続設置と定期的情報更新を行う。

(4) 歌会及び記念事業等、斎藤茂吉の業績顕彰事業

ア、斎藤茂吉記念全国大会(共催)

斎藤茂吉の業績顕彰と学芸文化の振興のため、斎藤茂吉記念全国大会と関連事業として斎藤茂吉記念歌集の事業を実施する。

◎第45回斎藤茂吉記念全国大会

平成31年5月19日(日)午前9時から午後7時までの時間帯において諸行事を実施する。

○茂吉のふるさと巡り「墓前行事(宝泉寺)・金瓶散策」

○斎藤茂吉記念館見学(有料)

○第30回斎藤茂吉短歌文学賞贈呈式(贈呈/選考経過報告/受賞者挨拶)

○平成30年度第16回斎藤茂吉ジュニア短歌コンクール最優秀賞作品表彰式(受賞対象者6人/選考委員経過報告)

○記念講演会(講師:大辻隆弘氏/演題「茂吉とことば」90分)(入場無料)

会場:三友エンジニア体育文化センター(上山市体育文化センター)エコーホール

○記念レセプション(有料) 会場:月岡ホテル

※大会事業(記念講演会)実施に伴う周知徹底と参加者募集のためのチラシ等作成・配布(前年度より申込締切日の4月末日まで)

◎斎藤茂吉記念歌集第45集

一般作品及び児童・生徒秀歌作品(第16回斎藤茂吉ジュニア短歌コンクール入選作品)を収載し発刊(平成31年5月14日/斎藤茂吉生誕日)する。※第45回斎藤茂吉記念全国大会開催時において墓前(金瓶:宝泉寺)に供え、投稿者には全国大会参加時及び郵送等により配布する。

◎第31回斎藤茂吉短歌文学賞事業 山形県と共に事業として実施する。

◎第46回斎藤茂吉記念全国大会事業(共催)

実施要項策定及び参加募集と周知(チラシ等作成)、参加者の増加を目指した新たな行事等の企画検討、同記念歌集第46集の投稿募集と周知・歌集発刊準備(編集)を行う。

※開催予定日:平成32年5月17日(日)

イ、第53回茂吉忌合同歌会(共催)

斎藤茂吉の顕彰と県内歌壇等の振興・交流等を図るための茂吉を追悼する超結社の歌会として、茂吉の命日に近い日曜を開催日として実施する。

※開催予定日:平成32年2月23日(日)午後~

※予定会場:三友エンジニア体育文化センター(上山市体育文化センター)、

※実施内容:歌会参加と作品の募集・選者講評・特選入選者表彰等

(5) 関連団体等の文化活動に対する協力

ア、かみのやま博物館連絡会(上山市内博物館3館)事業

3館共同印刷物「かみのやまウエルカムパスポート」の発行(再販運用)と各館有益な共催事業を企画し実施する。

※文芸誌等に対する情報提供(広告枠掲載/毎月)

イ、各地関連施設の企画展及び刊行物発刊等に伴う情報・資料提供等の協力

博物館等関連施設の企画展開催、自治体・出版報道機関・短歌団体・個人等からの情報・資料提供(出品)・調査・執筆等の要請に対する協力を行う。(年度内隨時)

2. 物販事業

公益事業の推進に資するための斎藤茂吉記念館内における物販事業

収蔵・展示資料等に関連した自主作製品の販売と、見学者に有益な資料を供するための委託販売を実施する。さらに、販売実績向上を目指した新規商品の開発と絶版品の再製品化、ホームページを活用した通信販売等の実施検討を行う。

3. 法人運営及び施設管理事業

(1) 法人運営

ア、斎藤茂吉記念館友の会に関する規程に基づく運営・事業の実施

斎藤茂吉記念館に対する協力及び理解を高め、事業活動の推進に資することを目的として斎藤茂吉記念館開館50周年を記念して平成29年度において制定した公益財団法人斎藤茂吉記念館友の会に関する規程に基づき、事業運営と周知及び入会の勧誘・推進を継続して実施する。

イ、斎藤茂吉記念館優待券の交付

斎藤茂吉記念館の公益的運営等円滑に推進するため、関係・協力者・団体等を対象として継続的に交付(平成 30 年)している斎藤茂吉記念館優待券(無料入館)の有効期間満了(平成 31 年 12 月 27 日期限)に伴う更新交付を行う。

ウ、斎藤茂吉の生家周辺(金瓶地区内)に対する対応・協力

上山市金瓶宝泉寺の斎藤茂吉墓域管理並びに整備等に対し協力する。(宝泉寺・金瓶学校保存会の活動に対する協力等)

(2) 施設管理

ア、管理規則第3条第1項の各号に基づく休館及び休館期間中の活用

平成 30 年 4 月 1 日から改正施行する管理規則に基づく休館を実施し、休館期間中を活用した諸業務を実施する。

○第3条第1項第1号に基づく休館「水曜日」の実施

○第3条第1項第2号に基づく休館「国民の祝日に関する法律第3条第2項に規定する振替休日」の実施

○第3条第1項第3号に基づく休館「前2号に規定する休館日に重なる場合は、その翌日」の実施

○第3条第1項第4号に基づく休館「12月28日から翌年1月3日まで及び7月第2週の7日」の実施

※7月の休館日を利用した施設・設備の点検、展示ケース内の管理(設備・資料等の点検、収蔵資料等保全のための収蔵庫内くん蒸の実施／平成 31 年 7 月 7 日(日)から同年 7 月 13 日(土)まで

イ、斎藤茂吉記念館施設の利用・管理

○館内展示設備の補充整備(展示台・照明等)

○館内諸室案内板の整備

○館内エレベーター設備機器と周辺設備の利用案内と管理(定期点検)の実施

○多目的トイレの利用案内と管理の実施

○その他、建物内外のバリアフリー箇所の案内と管理施設(倉庫等)の更新と管理の実施

ウ、斎藤茂吉記念館周辺の整備

○斎藤茂吉記念館周知のための既存案内板老朽化に伴う改修整備

※駐車場周辺、県・市道等沿線等

○斎藤茂吉記念館駐車場周辺の整備開発に伴う協力

※上山市温泉健康施設建設設計画に対する協力

4. 誘客・広報活動事業

- (1) 観光契約会社(34社)への誘客・広報活動強化
- (2) 市内旅館ホテル・観光施設・企業・飲食店及び関係機関団体等への誘客・広報活動強化
- (3) 上山市民の市外入館者の誘客に対する市民の入館料免除措置
- (4) 斎藤茂吉記念全国大会・斎藤茂吉ジュニア短歌コンクールの短歌誌での全国広報
- (5) 特別展等のテレビマーシャル及び高速バス車内放送
- (6) 学校教育・生涯学習・公民館活動等との連携
- (7) 公的機関誌・マスコミ・旅行誌・タウン誌等への情報提供及び掲載依頼